

身 市場小交通安全教室
身近にある危険から子どもたちを守る

市場小で5月10日に田川警察署員2人と田川地域交通安全活動推進委員8人など約20人が交通安全教室を開きました。1年生は信号の意味や横断歩道の渡り方、4年生は自転車の乗り方や点検方法など、実際に体験をしながら身近な交通マナーを学習。最後に児童たちは、警察官と交通ルールを守ることを約束し、交通安全への意識を高めているようでした。



↑ 実際に校庭で自転車に乗り、警察官から正しい乗り方と交通ルールを学ぶ児童。

↓ 懐中電灯を手に内部を見学し、壁画の跡を見つけて興味深そうに触る児童たち。



五 伊方古墳公開授業
五感を使って郷土の歴史を学ぶ

伊方小学校6年生53人の屋外授業が、4月26日に伊方古墳で行われました。児童は担当職員から発掘の様子や古墳の説明を受けた後、細部まで丁寧に彫り込まれている内部を見学。粘土での目詰め跡や石室の壁面を触った児童たちは、教科書では味わえない1400年の歴史を肌で感じ、当時の様子を思い浮かべながら、貴重な体験に目を輝かせていました。

↓ 方城中男子による組体操。歯を食いしばりながら完成させた力強い6段ピラミッド。



積 町内3中学校で体育会
積み重ねてきた練習の成果を存分に披露

天候に恵まれた5月20日、町内の3中学校(方城中199人、金田中250人、赤池中222人)で体育会が行われました。競技は白熱した徒競争のほか、保護者や教師も参加した催し、趣向を凝らしたダンスなど盛りだくさんの内容。なかでも練習を重ねた男子の組体操では、完成するまで諦めない姿に、会場からは惜しめない拍手が送られ、感動を呼んでいました。

↓ お父さんへのプレゼントを探す子どもたち。「どれがいいかな」と、真剣な眼差しで商品を選んでいました。



伝 第39回上野焼春の陶器まつり
伝統とぬくもりを感じる3日間

上野焼の「春の陶器まつり」が4月27日から3日間、ふれあい交流館と上野焼協同組合に加盟する13の窯元で開かれました。期間中は、お買い得の割引商品の販売や餅つきなどのふれあい交流のイベントが行われ、恒例となった陶器が当たる空くじなしのスタンプラリーも大好評でした。他県からの来訪者や期間内に運行した無料バスの利用者も多く、3日間で約6500人が新緑の香る春の上野路を満喫。陶芸ファンは茶わんや皿を次々と手にとり、普段はなかなか手が出ないお目当て品や掘り出し物を探していました。

小 平成24年度「春の叙勲」
松春義さんが旭日双光章を受賞

4月29日付けで叙勲受章者が発表され、福智町では小松春義さん(上野)が旭日双光章を受章しました。叙勲は公に対し顕著な功績を挙げた功労者を表彰する国の栄典制度で、春と秋の2回授与。昭和58年に当選以来、旧赤池町と福智町の議会議員を7期28年在職した小松さん。同議会の議長や各委員長を歴任し、町の発展と地方自治の振興に貢献しました。



↑ 浦田弘二町長からねぎらいの言葉と共に旭日双光章を受け取る小松春義さん。

お 興国寺の「花まつり」
釈迦様の誕生を祝う仏教行事

足利尊氏とゆかりの深い興国寺(上野)で、5月8日に毎年恒例の「花まつり」が行われました。仏教の開祖であるお釈迦様の誕生を祝うこの催しは、その昔、学校が休みになったほどのイベント。境内には色とりどりの花で飾られた御堂が設置され、幅広い年代の人が無病息災を願い、生まれたばかりの釈迦を模した像に、甘露になぞらえた甘茶を柄杓でかけました。



↑ 釈迦の誕生を祝い、甘い雨が降ったという伝説にちなんで、「甘茶」を注ぎます。

↓ 道真ゆかりの梅の紋を胸に笛の音に合わせ太鼓を打つ稚児と、威厳な雌雄の獅子。



豊 南木菅原神社神幸祭
かな実りを願い伝統の舞を奉納

学問の神として親しまれている菅原道真とゆかりの深い南木菅原神社の神幸祭が、5月2日から2日間行われました。厳かな雰囲気と獅子と、華やかな衣装をまとった4歳から12歳までの子どもたち16人が舞と楽打を奉納しました。農繁期に向け五穀豊穡を願うこの舞は、120年以上の歴史を誇り、戦争中も絶えることなく南木地区の伝統行事として受け継がれています。